

【参考】広島市立中央図書館等再整備基本計画（案）
第4章 新しい中央図書館等のコンセプト等から抜粋

第4章 新しい中央図書館等のコンセプト等

4-1 コンセプト

誰もが学び、憩う「『平和文化』の情報拠点」

～誰もがより読書を楽しみ、広島の魅力や平和への思いを学ぶことができる情報拠点～

※ 「平和文化」：市民一人一人が幸せに暮らすために大切となるものへの思いを共有し、自分ができることを日常生活の中で実践する文化（平和への思いの共有につながる広島の歴史、文化、産業等を学ぶ生涯学習も含む。）

4-2 基本方針

【基本方針1】誰もが読書を楽しめる環境づくり

図書館の本来機能の向上を図るとともに、静かに読書するだけでなく、親子で本に親しんだり、読書しながら憩えるような、誰もがより読書を楽しめる場を目指す。

【基本方針2】広島らしさを学び、情報を発信する場づくり

歴史、文化、産業等の「広島らしさ」を学べる場、様々な広島の魅力を県外、国外からの来訪者等へ発信する場、さらには「平和文化」の振興を図るために、市民はもとより、広島を訪れる多様な人々が、平和への思いを共有できる場とすることを目指す。

【基本方針3】社会教育の中核施設として、まちづくりや地域課題解決等に役立つ場づくり

社会教育の中核施設として、行政資料やビジネス関連資料を充実させ、まちづくりや地域課題解決などに活かしてもらおうための場とすることを目指す。

【基本方針4】利便性向上等のためのデジタル化などによる機能の強化

利用者の利便性の向上や「広島らしさ」の情報発信の強化などのためにDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進する。

※ DX（デジタル・トランスフォーメーションとは、「ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」こと。（総務省・平成30年度版「情報通信白書」）